

令和2年度 地産地消コーディネーター派遣事業
(学校等施設給食における地場産物の利用拡大)
派遣申請書

2020年 月 日

1 申請者について

組織名	
主担当者	(役職) <small>ふりがな</small> (氏名)

以下、様式にとらわれずに、ご記入ください。

2 申請者の地場産物の納入ルートおよび推進体制

※現状の品目別及び地場産別、納入組織、発注、納品(物流)、決裁等の流れ等がわかる体制図(フローチャートなど)を簡単に記載してください(既存資料や別図でも結構です)。

--

3 地場産物利用に関する調査・目標

下記の内容について、分かる範囲でご記入ください。

■自治体の食育・地産地消推進計画等もしくは、それに類する計画、施設毎に設定されている目標

計画・目標等の名称: _____

目 標 : _____年までに、_____%

集計のベース(該当するものに○印): 品目 ・ 重量 ・ 金額 ・ その他

調査期間 : 年間 ・ 6月、11月の特定週 ・ 指定された月または週 ・ その他

地場産物の範囲(該当するものに○印): 同一都道府県産 ・ 同一市町村内産 ・ その他()

調査範囲(該当するものに○印) : 市町村全体 ・ 全ての施設 ・ 特定の施設

その他の事項: _____

① 給食における地場産物を使用する割合

年 度	平成30年度 ※実績値を記入	令和元年度 ※実績値を記入	今年度 (目標値を記入)	令和3年度 (目標値を記入)
使用割合	%	%	%	%

② 給食における国産食材を使用する割合(調査が無ければ記載なしで結構です)

年 度	平成30年度 ※実績値を記入	令和元年度 ※実績値を記入	今年度 (目標値を記入)	令和3年度 (目標値を記入)
使用割合	%	%	%	%

※上記に当てはまらない場合は、こちらにご記入ください。

4 目標(詳細)について

下記の「数値目標」と「成果目標」から、目標を設定して、その内容を具体的に記載してください。

(1)数値目標:給食における地場産物利用について、原則「前年度対比3%向上が目標」。

前年度と比較できる目標を設定してください。目標とする対象や期間等は、任意設定とし、地域の現状や課題等を考慮し、地域に即した内容で設定ください。なお、派遣事業を進める上で、変更も可能です。

(設定例)

- ・使用品目数の増加(新たな品目を給食に取り入れるなど)
- ・使用回数の増加(使用期間を伸ばして、使用回数を増やすなど)
- ・供給量の増加(なるべくたくさんの地場産物を使った給食の提供など)

■設定する目標 ※①～③の中で該当するものに、○印をつけてください。

- ① この派遣事業で、目標を設定する
- ② 上記「3 地場産物利用に関する調査・目標」に記載した、既存の目標値に合わせる
- ③ その他()

※①、③を選んだ場合は、下記をご記入ください。

■集計のベース : 品目 ・ 重量 ・ 金額 ・ その他()

■調査期間 : 期間を設定する ・ 年間(1月～12月) ・ 年度(4月～3月)

※期間設定をする場合は、5日間以上で設定ください。

月 日 ～ 月 日まで (日間)

■地場産物の範囲 : 市町村内産 ・ 同一地区内産 ・ 都道府県内産

・ その他()

■調査範囲 : 市町村全体 ・ 全ての施設 ・ 特定の地域(地域名:)

・ 特定の施設(施設名:)

■目標値 : (ここで設定する調査期間での実績値・目標値を記入)

年度	平成30年度 ※実績値を記入	令和元年度 ※実績値を記入	今年度	令和3年度
数値目標				

※過去に調べたことが無い場合は、「0」と記載ください。

(2) 成果目標

当派遣事業を通じて得たい成果を、下記①～⑬の中から、2つ以上を選択して○印をつけてください。

(1) 地場産物の使用拡大(同一地区内産、同一市町村内産、同一都道府県内産等)

- ① 品目数の増加(使用見込の把握も含む)
- ② 規格の拡大
- ③ 供給量の拡大(使用見込の把握も含む)
- ④ 供給回数の拡大(使用見込の把握も含む)
- ⑤ 供給組織・生産者の増加(見込の把握も含む)

(2) 新たな調整組織の発足や人材育成

- ⑥ 新たな連絡調整会議や調整組織等の立ち上げ
- ⑦ 既存の連絡調整会議への増員、増加(参加者数、会議回数など)
- ⑧ 調整役(地産地消コーディネーター)の設置
- ⑨ 喫食者や栄養士等と生産者との交流

(3) 新たな商品・サービスの構築

- ⑩ 一次加工技術や加工品の開発
- ⑪ 保管場所・保存方法の改善(使用日数、使用期間の拡大など)
- ⑫ 新たな物流体制の構築(食材納入ルート、納入者の増加など)

(4) その他 ※申請者側が目標にしたい成果を、具体的に記載。

5 地場産物の利用による効果の検証

派遣事業の実施前と実施後の変化や効果を検証する手法について、下記(1)～(4)にある小項目のうち、2項目以上を選択して、○印をつけてください。

(1)満足度調査

① 給食(食事)受益者による地場産食材を使用した食事への評価

※児童生徒、喫食者、入居者、保護者等の給食(食事)内容に対する評価

② 食材供給者による地場産食材の利用拡大に対する評価

※生産者及び生産者組織、地域住民、流通業者等の食材供給側の評価

③ その他()

(2)経済的効果

① 地場産食材の使用金額の推移(市町村内産、同一地区内産、都道府県内産)

② 地場産食材のうち、当該施設(センター・学校・病院・施設等)の同一地区内食材の使用金額の推移

③ 地場産食材の使用重量の推移(市町村内産、同一地区内産、都道府県内産)

④ 給食用畑の面積・生産量の推移

⑤ その他()

(3)教育的効果

① 受益者等の地場農産物に対する意識の変化

② 受益者等の地場産業や地域食文化に対する意識の変化

③ 受益者等の和食や郷土食に対する意識の変化

④ 受益者等の朝食摂取や栄養バランスに対する意識の変化

⑤ その他()

(4) その他(上記以外) ※申請者側で効果の検証に使用したい手法を、具体的。